

緑の担い手

緑の雇用研修 二年目を迎えて

つくばね森林組合

大 関 直 輝



私は昨年、地元石岡市(旧八郷町)のつくばね森林組合に就職しました。前職は林業とは無関係の職種だったため林業は全くの未経験で、一からのスタートでした。

仕事を始めて山に入り、まず感じたことは、沢のせせらぎや小鳥のさえずりがとても心地良く、大自然の中で仕事ができることの喜びです。その一方で、急斜面の上り下りやその中での作業は想像していた以上に

厳しく、気を抜けば事故に繋がる危険な仕事であることにも気付きました。

私は現在、緑の雇用研修二年目を迎えています。これまで受講した学科や現場実習で共通して学んだことは、「何より安全が最優先されるべきである」ということです。もちろん知識や技術面も大事ですが、それは十分な安全確保が前提なので、とにかく基礎を徹底的に学びます。集合研修は私にとって、講師だけでなく研修生同士の意見交換を通じて現場を学び、知識を吸収できる良い機会となっています。

就職して一年半が経ち、現在は主に森林調査や測量、書類作成等事務を担当しています。外務と内務どちらも覚えなければならぬことはたくさんありますが、主体性を持って学び・行動し、疑問点や悩みは気軽に先輩や上司に相談できる環境なので、伸び伸びと仕事に取り組むことができています。今後は自分ができる仕事を一つずつ増やしながら各種資格取得にも努め、組合や地域に貢献できる人材になりたいと思います。